



3月13日、24日 村内小・中学校卒業式 笑顔で再会することを誓う

村内小中学校で卒業式が行われました。昭和中学校では13日、63人の生徒が卒業しました。式では、在校生を代表し山田優真さん(2年生)が目標としてきた卒業生たちに感謝の気持ちを込めて送辞。答辞では、卒業生を代表して堤倅衣さんが「また会った時には笑顔で笑い合えるよう、中学で学んだ志を生かし、目標に向かって進み続けます」と述べました。

また、各小学校では25日に53人が卒業を迎えました。多くの来賓者や在校生に見送られ、思い出の詰まった学び舎を旅立ちました。



答辞を述べる堤さん、卒業証書を授与される卒業生(昭和中)



式典に臨む卒業生(昭和中)



答辞を述べる井上さん、式場を後にする卒業生(東小)



3月16日 第43回村民芸能祭・文化協会表彰式

永年の活動が称えられる・ステージ上で魅せた見事な演目



文化功労書を受ける(左から)小野さん、竹之内さん、野田さん

第43回村民芸能祭が村文化協会(新木一雄^{かずお}会長)主催で開催されました。ステージ上では、演奏や歌、ダンスなど19もの見事な演目が披露され、客席から大きな拍手が送られました。

また、芸能祭の開会に先立ち、村における文化の普及振興に長年にわたり貢献された、昭和歌謡会の竹之内孝永^{たかのり}さん、昭和村盆栽愛好会^{かすお}の小野一男^{かずお}さん、JA糸之瀬女性部だんべえの野田清美^{きよみ}さんに新木会長から文化功労賞が贈られました。



ステージ上から観客を魅了した(左から)昭和歌謡会、マンドリンるばんが、しらゆりフォークダンスクラブ

2月26日 認知症サポーター養成講座 寄り添う心を学ぶ

昭和中学校で社会福祉協議会(新木敬司^{けいじ}会長)による認知症サポーター育成講座が行われました。育成講座を受講した昭和中の1年生たちは、認知症について理解を深めていました。



認知症サポーターリングを掲げる生徒たち

3月25日 こんにゃく料理教室 お家で作れるかんたんレシピ

こんにゃくの消費拡大に向けて、昭和中学校の1・2年生を対象に、こんにゃく料理教室が行われました。講師を森峯^{みね}子^こさん(上内出)が務め、生徒たちは手作りしたしらたき料理に舌鼓をうちました。



生徒たちにこんにゃく料理を教える森峯子^{みね}さん

3月22日 村内保育園卒園式 大きな夢に向かって

村内保育園で卒園式が行われました。第一保育園では園長先生から受け取った保育証書を掲げ、将来の夢や保育園生活での楽しかったこと、小学校で頑張りたいことなどを大きな声で発表していました。



保育証書を掲げ将来の夢を発表する園児(第一保育園)

2月23日 第26回昭和村囲碁大会 基盤挟み真剣勝負

第26回昭和村囲碁大会が昭和村囲碁会(眞下直治^{なおじ}会長)の主催により村公民館で開催されました。村囲碁会に所属する15人が囲碁を打ち、お互いの腕前を確かめ合いました。



囲碁に興じる参加者たち

2025年フェンシング世界ジュニアカデ選手権 中国・無錫大会 世界の強豪たちとの戦いに挑む

中国・無錫市で行われるフェンシング世界ジュニアカデ選手権へ日本代表選手として沼田女子高校3年の笠原^{かき}怜^{れん}姫^めさん(4月から日本大学)が招待され、高橋村長に出場報告を行いました。

世界大会に招待される選手は、年間を通して実施される5大会で上位の結果を残した4名が種目ごとに選出されます。笠原さんはジュニアエペ部門において見事な成績を多くの大会で残し、この度中国で行われる国際大会へ招待を受けました。

大会に向けて笠原さんは「大きな舞台で世界の代表選手たちと戦い、自分の長所を生かし、メダルを狙っていきたい」と意気込みを話します。世界を相手に闘う笠原さんの活躍に期待が集まります。



高橋村長に出場報告を行う笠原さん(左から3人目)